

田んぼの生きもの調査は、全国に広がろうとしています。それは、日本の自然を見つめ直すこととなります。「生物多様性」という言葉も耳にすることが多くなりましたが、じつはこれまで田んぼの生きもの全種リストはどこにもありませんでした。それができたのです。何と5000種を超えるのです。さらに、この中から240種ほどを「指標化」しました。もっと身近な自然に、まなざしを注ぐためのツールになります。農のもうひとつの生産物である「自然」「生物多様性」をみんなで引き寄せるシンポジウムです。

## イネはなぜ、いろいろな生きものと一緒に育つの

【福岡会場】

2009年3月7日(土) 10時～16時30分

会場：福岡市ももち文化センター 福岡市早良区百道 2-3-15 TEL092-851-4511  
参加費1000円(「全種リスト」と「田んぼの生きもの指標」も差し上げます)事前申込不要

10時～12時 **第1部「田んぼの生きもの全種へのまなざしは可能か」**

映画上映 『田んぼ』 21分版(田んぼの生物多様性を主題にした力作)

講演1：桐谷圭治さん(農と自然の研究所・生きもの指標作成企画委員長)

「なぜ、水田生態系をとりあげるのか」

講演2：森本信生さん(農研機構・中央農業総合研究センター)

「田んぼの生きものたちの特徴」

講演3：市川憲平さん(姫路市立水族館)

「子どもがもどってきた田んぼ」

13時～ あいさつ：藤瀬新策(環境稲作研究会・農と自然の研究所)

13時10分～ **第2部「田んぼの生きもの指標って何？」**

講演4：原耕造(生物多様性農業支援センター)

「生きもの指標の可能性」

講演5：岩淵成紀さん(NPO田んぼ)

「生きものから見えてくる農」

講演6：宇根豊(農と自然の研究所)

「生きもの新しい語り方」

14時40分～ 【植物分野】

講演7：嶺田拓也さん(農研機構・農村工学研究所)

「草は稲の影法師」

15時10分～ **第3部「田んぼの生物多様性をどう表現するか」**

座長：宇根豊

パネリスト：嶺田拓也さん、岩淵成紀さん、市川憲平さん、森本信生さん  
林 鷹央さん(生物多様性農業支援センター)

16時20分～ まとめの話

話者：藤瀬新策

主催：農と自然の研究所 092-326-5595 生物多様性農業支援センター 042-711-7015 03-6273-9571

共催：NPO田んぼ 民間稲作研究所 環境稲作研究会 むさしの聖山研究会

協賛：パルスシステム生協連合会 生活クラブ生協連合会 全国農業協同組合連合会 (株)アレフ

後援：農林水産省 全国農業協同組合中央会 農村環境整備センター

裏面に【東京会場】の案内を載せています

